

県立安達高等学校

教科名等：家庭「発達と保育」
単元(題材)名：課題学習「乳幼児の子育てプラン」
～育ち合う日々をめざして～
学年：第3学年

実施状況

くねらい>

これまで学習してきた内容、保育所訪問の体験、講演会で聞いた保育者の心構えなどをふまえ、乳幼児を持つ夫婦が協力して家庭生活を営む具体的な方法についてプランを作成する。パワーポイントを用いてプレゼンテーションをすることによって、課題を明確にしてその解決法を探る。また、情報を共有し、多様な課題とその解決策や対応について多面的に捉える態度や実践的な態度を養う。



<指導計画(概要)>

- ① インタビュー 先生方へのインタビューから子育ての具体的な課題や生活の工夫についてまとめる。
- ② 二本松市の子育てに関する統計と子育て支援について学ぶ。
- ③ 各班で、プレゼンテーションの内容検討及びパワーポイントによるプレゼンテーション資料の制作
- ④ 発表とディスカッション、本単元のまとめ

生徒の感想

取り組み態度について（自己評価）
大変良かった 8人 (出席者 17人)
良かった 9人

- ・ 自分たちで調べることによって、より理解が深まりよかったです。
- ・ 各班の異なるテーマの発表を聞いたり、ディスカッションしたりしたこと、いろいろな考え方があることを知った。また、自分の考えを述べることができてうれしかった。
- ・ コミュニケーション能力を高めて、よく話し合って、わかり合うことが大切だと知った。
- ・ 子育てしている人が、もっと働きやすく子育てしやすい環境にしなければならない。

参観者の感想

- ・ 乳幼児をもつ夫婦が協力して家庭生活を営む具体的な方法を、あらゆる情報をもとにして、自分なりに考えている姿がすばらしいです。
- ・ 子育てという領域の中で、それぞれの班でテーマを設定しグループで意見を交流させながらお互いに補充したり深化させたりすることができる学習活動は、生徒達の考え方方に広がりと深まりが可能となるので、とてもよい授業構成であると感じました。
- ・ 「男女の協力」「分担」「分かり合う」等のキーワードからの対応策、とてもすばらしいです。しかし、現状は、看護休暇・男性の育休・子育て支援制度等整備されつつあるがまだまだである。だからこそ「分かり合う」「関わり合う」ことを大切にした人間関係力が求められる。

指導者の感想

短時間でプレゼンテーションの準備ができるように、例題のスライドショーを作成し最初の授業で見せた。これで生徒は課題学習の進め方をすぐに理解し、自分が何をすればよいか方向性をみつけることができた。乳幼児とふれあう機会が少ない生徒にとって、子育て体験者の生の声を聞くことで、子育ての具体的な課題を見つけ、その解決策についても自分たちで考えようとする意欲を引き出すことができた。公開授業では、プレゼンテーションの後のディスカッションで、各自が自分の意見を自分の言葉で述べることができた。また、児童虐待や育児放棄などの今日的な社会問題についても自分の考えを自分の言葉で述べることができた。ねらいがほぼ達成でき、生徒に自信を持たせることができてよかったです。